

兵庫県保険医協会尼崎支部 職員接遇研修会

接遇の基礎とクレーム対応

医療機関の職員には、患者さんが安心して頼ることのできるコミュニケーション能力が求められています。接遇の質の向上こそが、医療への信頼と医院の印象を一層高めることにもつながります。

研修会では、毎回好評の水原道子先生をお招きし、窓口、電話対応、患者さんへの接し方など基本的な接遇から、患者心理をふまえた接遇のポイント、クレームへの対応法などケーススタディーも交えてわかりやすくお話いただきます。

新しい職員の方はもちろん、改めて日頃の仕事を見直す機会として、ベテランの方もぜひご参加下さい。

日時 5月16日(土) 14時30分～16時30分

会場 尼崎中小企業センター 502号室

TEL: 06-6488-0900 (阪神尼崎駅徒歩3分)

講師 大手前短期大学教授 水原 道子 先生

参加費 1,000円 / 一人

定員 40人 (定員になり次第締め切らせていただきます)



お問い合わせは協会事務局 長澤・荒川・石本・湯浅 TEL078-393-1817 まで

(切り取らずにFAXしてください)

【 参加申込 】 FAX: 078-393-1802

尼崎支部職員接遇研修会 (5/16)

お名前	職種	経験年数
		年 力月
		年 力月
		年 力月
		年 力月
		年 力月

地区 () 医療機関名 ()

TEL: ()

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

363号

2015年3月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会・第10回総会

すべての被害者救済の運動を 引き続き強めよう



挨拶する船越正信会長



支援者ら80人が参加した

協会尼崎支部が参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」(会長・船越正信尼崎医療生協理事長)は3月14日、尼崎市立中央公民館で第10回総会を開き、80人が参加した。会長に船越先生、代表委員に八木秀満協会尼崎支部長が再任され、森岡芳雄協会環境・公害対策部長のメッセージが紹介された。

あいさつに立った船越会長は、「2007年に公害型訴訟を提訴してから8年目の今年2月、クボタの責任を認定した高裁判決が確定し、大きな風穴を開けることができた。みなさんの運動の賜物だ。しかしクボタは未だに謝罪していないし、国も責任を認めていない。アスベストの被害は今後も発生することは明らかだ。これまでのたたかいで得た成果と教訓を生かして、すべての被害者が救済されるようもっと運動を強めよう」と訴えた。

弁護団事務局長・八木和也弁護士は、公害型裁判で最高裁が上告を棄却し高裁判決が確定したことについて、「全国ではじめて加害企業の公害責任が認定された意義は大きい。クボタの責任は旧神崎工場から300m以内に限定されたが、今後尼崎市に疫学調査を実施させるなど運動の展開が重要だ」と述べた。また、3月23日に判決が言い渡される労災型裁判について「石綿製品からの曝露による責任を国に求めている点など全国的に注目されている。勝利を確信しているがたたかいは今後も続く」と続けた支援をよびかけた。

どうなる?尼崎の介護保険制度 4月改定の介護保険でどうなった? 「新しい総合事業」の見通しは?

介護保険法の改定によって、4月から特養の入所を介護度3以上、施設入所費用の見直し、一定所得のある方の介護サービス自己負担2割への引き上げなどが実施されます。また2017年から要支援者に対する介護予防の訪問介護と通所介護が、市の「新総合事業」に移管されます。「今までと同じサービスを受けられるのか」「利用者負担が増えるのでは」など悩みはつきません。事業所も、介護報酬の大幅な引き下げのもとで、介護職員の処遇改善を困難にし、満足な介護が提供できない状況にあります。その中で、市の考えをお聞きし、市民が安心して介護を受けるためにどうすればよいのか、この機会に学習し運動を広げましょう。どなたでも参加できます。多くのみなさんご参加をお待ちしています。

日時 4月25日(土)午後2時~4時

場所 尼崎民主商工会 3F

(尼崎市東難波町4丁目4-11 ☎ 06-6482-1735)

講師 尼崎市高齢介護課 課長 長江 和仁 氏

尼崎市出前講座

「どうなる?尼崎の 介護保険制度」

- ・介護現場での具体的な事例をおよせください。
- ・介護予防事業を受けられている市民の方の声もお寄せ下さい。



尼崎社会保障推進協議会(尼崎社保協)

連絡先 尼崎市南武庫之荘11-12-1 あおぞら生協クリニック気付
☎ 6436-1724 FAX 6436-1725 (担当 堤)

主な構成団体: 尼崎医療生協、保険医協会、野村医院、新日本婦人の会、生健会、年金者組合、民主商工会、尼崎障連協、尼崎労連、福保労、日本共産党など

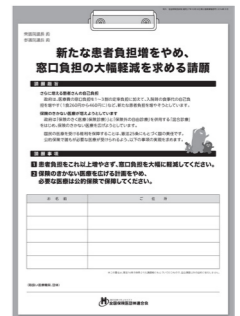
「ストップ患者負担増」署名 めざせ! 5万筆

まだご返送いただいていない先生は1枚だけでもご協力を!

協会では政府が発表した「患者申出療養」制度の創設、漢方薬や湿布薬などの保険外しといった患者負担増計画案を許さないために、「新たな患者負担増をやめ、窓口負担の大幅軽減を求める請願」署名運動を5万筆を目標に取り組んでいます。

会員の先生方におかれましては、1枚だけでも結構ですので、まずはご自身・ご家族・職員の方々の署名を協会までご返送いただきますようお願いいたします。

署名用紙追加や返信封筒をご希望の場合は、協会事務局までご連絡ください。



支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,100人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。

勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟には是非、入会をおすすめください。



「サポート力」
いちばん身近に
いちばん親身に

第494回幹事会だより

2月20日(金) 於 JR立花「山内農場」

- 尼崎支部の会員数
2/19現在 医科382人、歯科148人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
アスベスト訴訟、予防接種、尼崎の救急医療などについて意見交換した。
- 次回の幹事会
3月20日、阪急塚口「遠山」で開催。